

名寄市地域イントラネット基盤施設整備事業

注意：本ページの内容は、平成15年度総務省補助金交付時のものであり、現状と異なる場合があります。

事業の概要

名寄市役所に「地域情報センター（仮称）」を整備し、公民館や図書館、学校等を光ファイバでネットワーク化することにより、行政情報提供システムや公共施設利用予約案内システム、教育情報提供システム等を構築し、住民サービスの向上を図る。

- 整備期間 平成15年度
- 総事業費 約184,000,000円
- 補助金額約 約61,000,000円
- 主な伝送路 光ファイバ(自営)100Mbps
- 接続箇所 30箇所(うち学校接続10箇所)

主なアプリケーション

(1) 行政情報提供システム

公共施設に整備した公共端末や携帯電話、家庭でのパソコン、FAXを利用して、市民が日常生活において必要とする行政情報、地域の情報、まちづくり情報などの各種情報を提供する。

また、電子メール等を利用し各種問い合わせ、相談を受け付ける。

(2) 公共施設利用予約案内システム

公共施設の利用状況や予約など、直接市民が当該施設に出向くことなく、最寄りの公共施設に設置した公共端末や家庭のパソコンから、インターネットを経由して情報の入手や予約が行える。

(3) 教育情報提供システム

市内の小中学校10校とのネットワーク化を図り、学校教育の高度化や児童・生徒や教職員の情報リテラシーの向上を支援する。

また、各種講座や教室、スポーツ、ボランティアに関する情報など、さまざまな社会教育情報の提供を行う。

イメージ図

